



安全データシート

Page 1 of 7

Loctite 401

SDS No. : 624092

V001.0

改訂: 12. 04. 2021

発行日: 20. 02. 2023

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 195902
製品名 : Loctite 401

会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1800

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分	標的臓器
引火性液体	区分 4	
皮膚刺激性	区分 2	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2	
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分 3	気道刺激性

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:	H227 可燃性液体 H315 皮膚刺激。 H319 強い眼刺激。 H335 呼吸器への刺激のおそれ。
安全対策	P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。
応急措置:	P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。 P304+P340+P312 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分がわるいときは医師に連絡すること。 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 P370+P378 火災の場合: 乾燥砂、粉末消火薬剤または水溶性液体用泡消火薬剤を使用する。
保管:	P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 P405 施錠して保管すること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物: 混合物

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
2-シアノアクリル酸エチル	>= 90 - <= 100 %
ポリ (メタクリル酸アルキルエステル)	>= 1 - < 10 %
ペンタフルオロベンゾニトリル	0.5 %

4. 応急処置

- 皮膚にかかった場合：**皮膚を接着した場合無理にはがさないようにしてください。温水に浸してゆっくり尖ってないスプーンのようなものではがすようにしてください。
シアノアクリレートは硬化時に発熱します。まれに大量にこぼした場合やけどするおそれがあります。
やけどの治療は、接着剤を取り除いてから行うこと。
もし唇を接着してしまった場合は温水で湿らせてはがすこと。通常は唾液により自然にはがれます。
接着した唇をはがすときに、無理やりはがそうとしないこと。
- 眼に入った場合：**もし眼を接着してしまった場合は温水で湿らせたパッドを当てること。
シアノアクリレートは眼中たんぱく質を接着する、涙を誘発し接着剤を剥離する。
接着されたものが完全に剥離するまで眼帯等をすること。通常1～3日かかる。
眼を無理に開けようとしないでください。硬化したかけらがまぶたの裏に入り眼球を傷つける恐れがあるので、医師の診断が必要です。
- 飲み込んだ場合：**気道がふさがれていないことを確認してください。製品は直ちに重合するため飲み込むことはほとんど不可能です。唾液により徐々に硬化されたものが剥がれ落ちるでしょう（数時間）。
- 吸入した場合：**空気の新鮮な場所へ移動させ、不快感が続く場合医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

- 消火方法：**火災が起きた場合は容器に散水して低温を保つ。
- 消火剤：**泡、粉末消火剤、二酸化炭素
細かな霧状の水スプレー
- 使ってはならない消火剤：**不明
- 火災時の分解物質：**炭素酸化物、窒素酸化物、刺激性有機蒸気。
- 保護具：**消防隊員は陽圧自給式呼吸器（SCBA）を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：**十分な換気を保つこと。
- 環境に対する注意事項** 下水管に流さないこと。
- 除去方法：**拭き取るのに布は使用しないこと。水を流し完全に硬化させた後、床から取り除くこと。硬化物は非有害物として廃棄することができる。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い** 大量に使用する時は、換気することを推奨する。
皮膚や眼に接触するリスクを最小限にするため、塗布装置を使用することを推奨する。
- 保管:** 最適な棚寿命を保つために、元の容器で 2 - 8 ° C (35.6 - 46.4 ° F) で冷蔵保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策:** 管理限界以下の蒸気濃度を一般換気で維持するのが不十分であるならば、ダウンドラフト等の強制排気装置を使用すること。
- 保護具:**
- 呼吸用保護具:** 十分な換気を保つこと。
十分に換気ができない場合は適切な呼吸マスク
 - 眼の保護具:** 保護眼鏡を着用すること。
 - 皮膚及び身体の保護具:** 適切な保護服を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

- 形状:** 液体
- 色:** 無色から黄
- 臭い:** 鋭い
- 沸点:** > 149 ° C (> 300.2 ° F)
- 引火点:** 80 - 93 ° C (176 - 199.4 ° F)
- 粘度:** 100.0 - 120.0 mPa. s
(ブルックフィールド; 装置:
LVF; 25 ° C (77 ° F); 回転速
度: 30 min⁻¹; スピンドル No.:
1)
- 粘度:** 70.0 - 110.0 mPa. s
(コーンプレート; 装置:
Physica MC 100 (or
equivalent), Cone CP50-1;
25 ° C (77 ° F); セン断速度:
3,000 s⁻¹)
- 蒸気圧:** < 700 mbar
- 比重:** 1.1 g/cm³
- 水への溶解度:** 水の存在下で重合する

10. 安定性及び反応性

安定性:

化学的反応性: 水、アミン類、アルカリおよびアルコール存在下で、急速な重合発熱が起こる。

混触危険物質: 適切に使用した場合特になし。

化学的安定性: 推奨保存状態下では安定している。

避けるべき条件: 通常の使用、保管条件では安定。

危険有害な分解生成物: 意図された目的に使用される場合は、無し

11. 有害性情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
2-シアノアクリル酸エチル	皮膚刺激性	区分2		
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2A		
	特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3		気道刺激性

一般毒性情報: 動物実験検査データなし。

12. 環境影響情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分
ポリ (メタクリル酸アルキルエステル)	水生環境有害性 短期 (急性)	区分3

一般環境有害性情報: 下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。

13. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。
この製品の廃棄物への寄与は、それが使用される物品と比較して微少である。

汚染容器包装の廃棄方法: 使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトル は化学汚染物質として公認された埋め地に処理するか焼却する。
廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。

14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:
危険物には該当しない。

Air transport IATA:

Class:	9
Packing group:	III
Packing instructions (passenger)	964
Packing instructions (cargo)	964
UN no.:	3334
Label:	9
Proper shipping name:	Aviation regulated liquid, n.o.s. (Cyanoacrylate ester)
追記 IATA:	
追記 IATA:	Primary packs containing less than 500ml are unregulated by this mode of transport and may be shipped unrestricted.
追記 IATA:	Primary packs containing less than 500ml are unregulated by this mode of transport and may be shipped unrestricted.

15. 適用法令

労働安全衛生法:

名称等を通知すべき有害物
名称等を表示すべき有害物

2-シアノアクリル酸エチル
2-シアノアクリル酸エチル

消防法

第4類引火性液体, 第4類 第3石油類(非水溶性)

毒劇物法:

劇物(指定令)

ペンタフルオロベンゾニトリル

PRTR法:

該当しない

16. その他の情報

発行日:

20.02.2023

問い合わせ先:

近藤 由紀子、製品安全性及び規制業務担当

注意:

この安全性データシートは日本工業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。

SDSの内容に関するお問い合わせ ヘンケルジャパン株式会社 製品安全性及び規制業務担当 横浜市磯子区新磯子町27-7 TEL:045-758-1780 FAX:045-758-1771